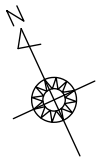


街とつながるアトリエ

24UH039 永田一稀

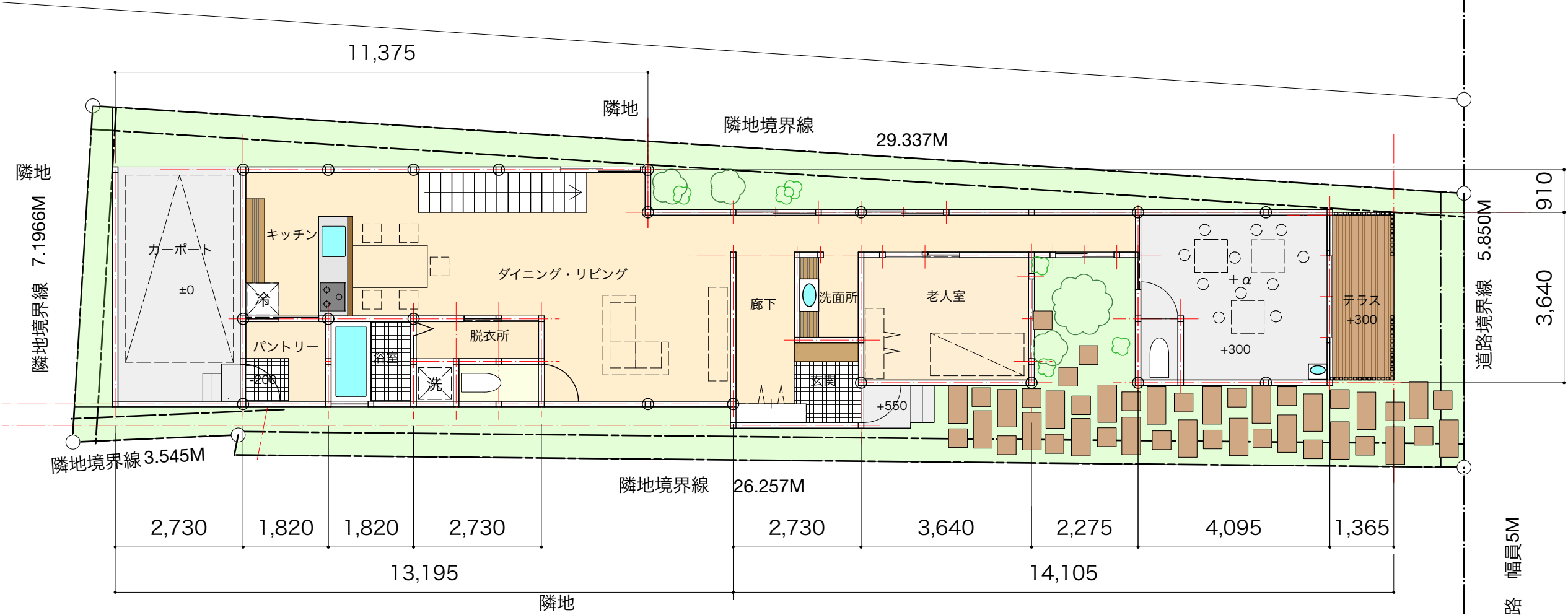
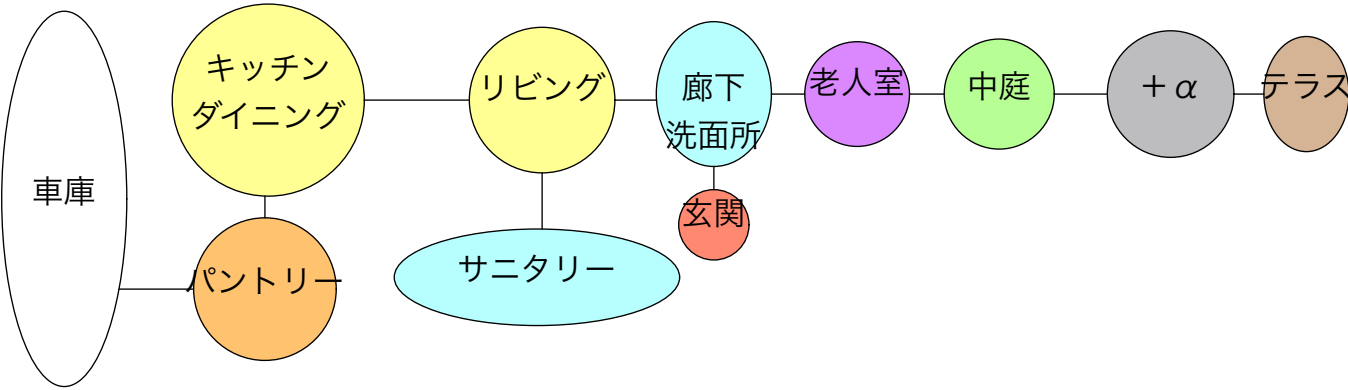


		家族構成
容積率	168%	夫 36歳
建蔽率	70%	妻 34歳
		子供 10歳
		祖母 58歳

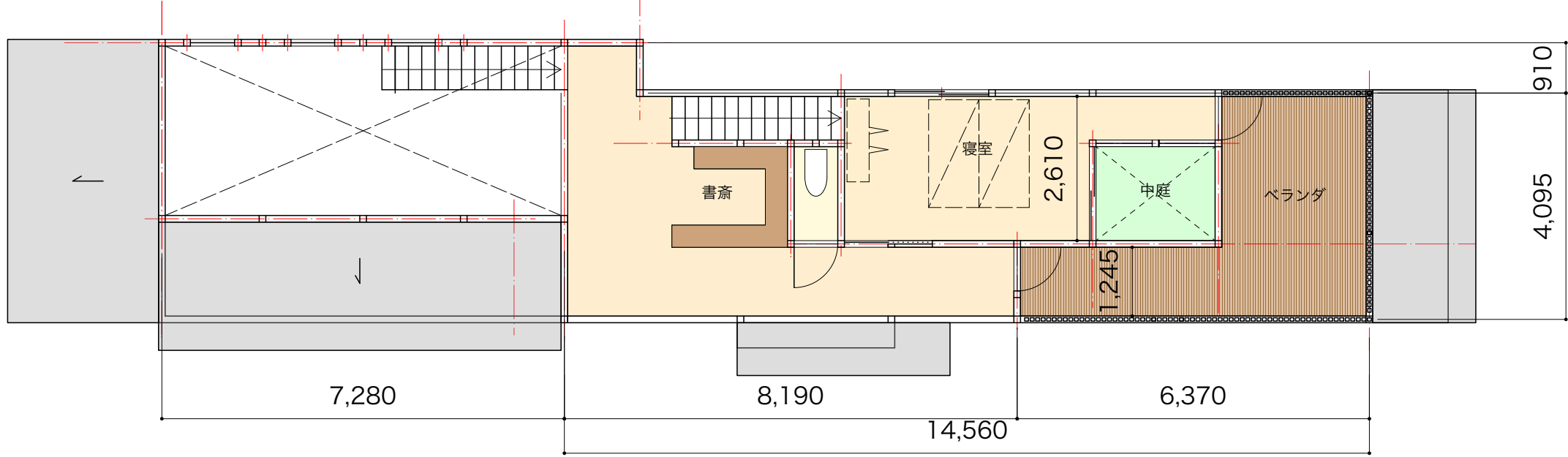
設計趣旨

1敷地の近くに神社があり、街の景観を崩さないように外壁に木を使って周りに馴染むように外壁を考えた。
また、敷地の西側に+αの絵画教室を配置し、街と連続性をもたせている。
2+αの床はコンクリート床になっておりかつ、住宅が建っている基礎よりも250mm低く設計しているためレベル
差や+αと住宅の間に中庭を入れる事でプライベートな空間と街につながる空間をわけている。
3カーポートは敷地の東側に配置した。また、車を降りて玄関までは外側を回らないといけないのでカーポートから
パントリーを通して直接キッチンに入れる動線を作った。
4二階のバルコニーは道路に面していたためルーバーの間隔を狭め、北側に面した共通道路の窓は光を取り入れる必要
があったので間隔を少し広めにルーバーを設置した。

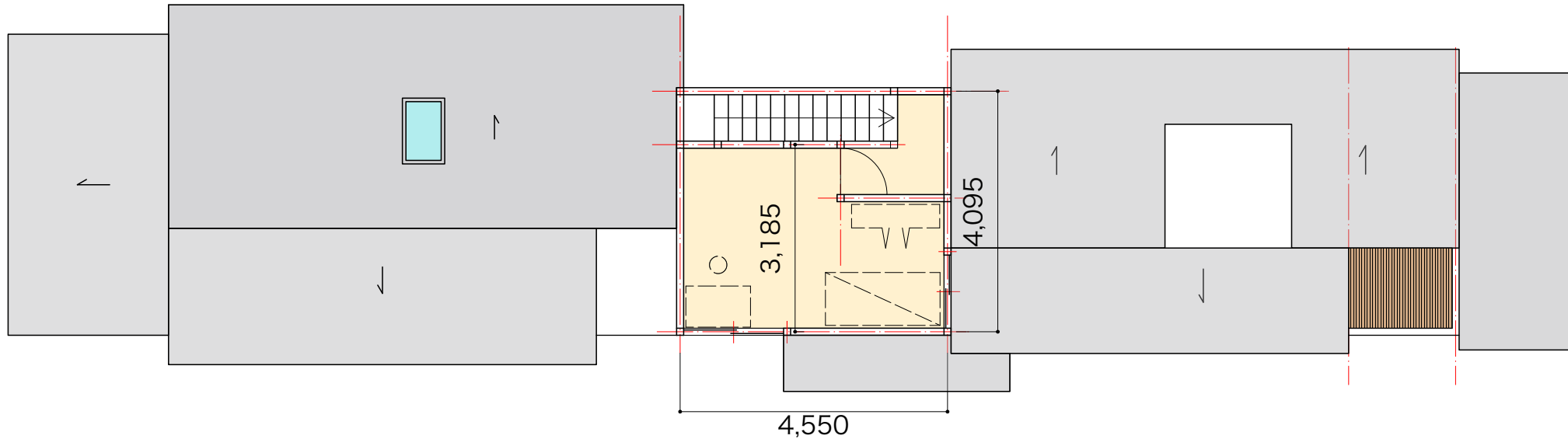
バブルダイヤグラム 1階



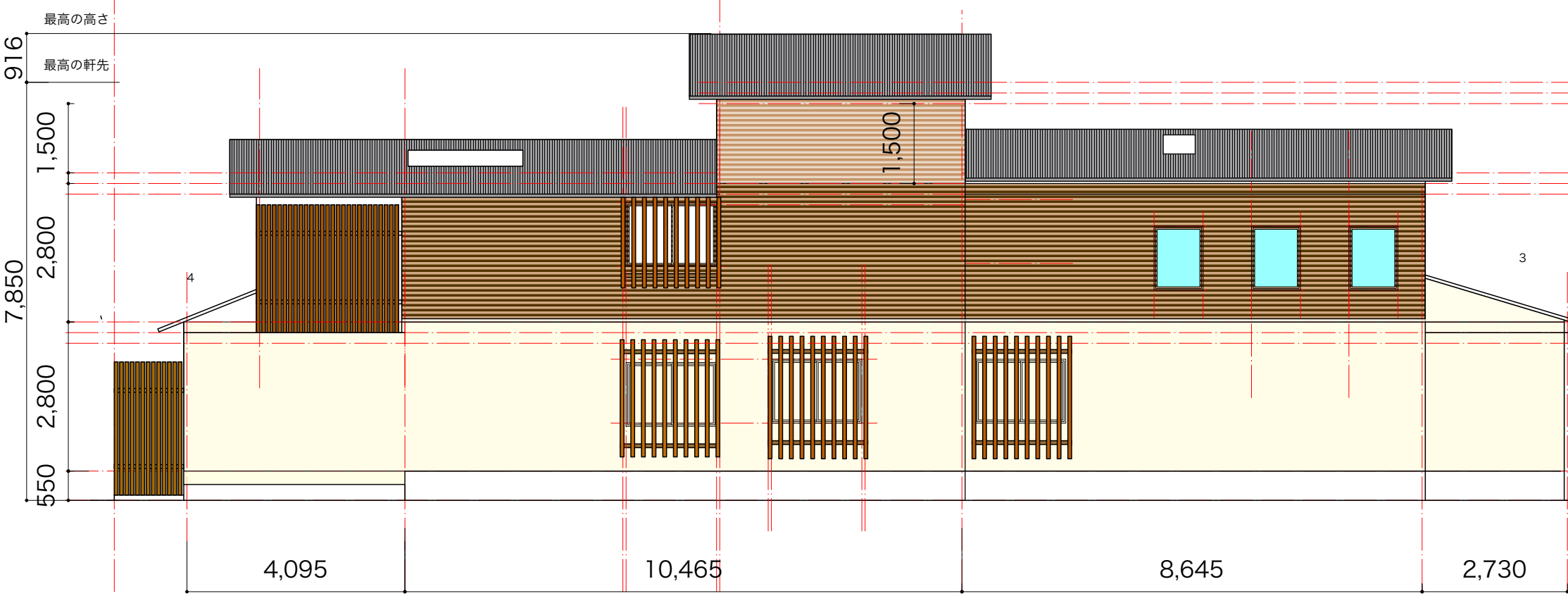
一階平面図 S 1:100



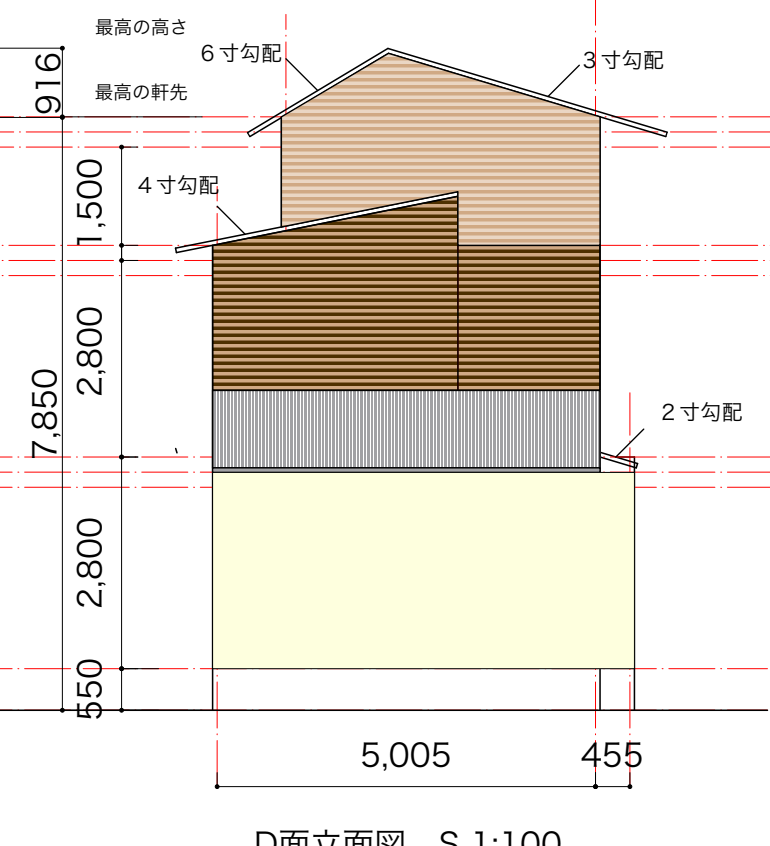
二階平面図 S 1:100



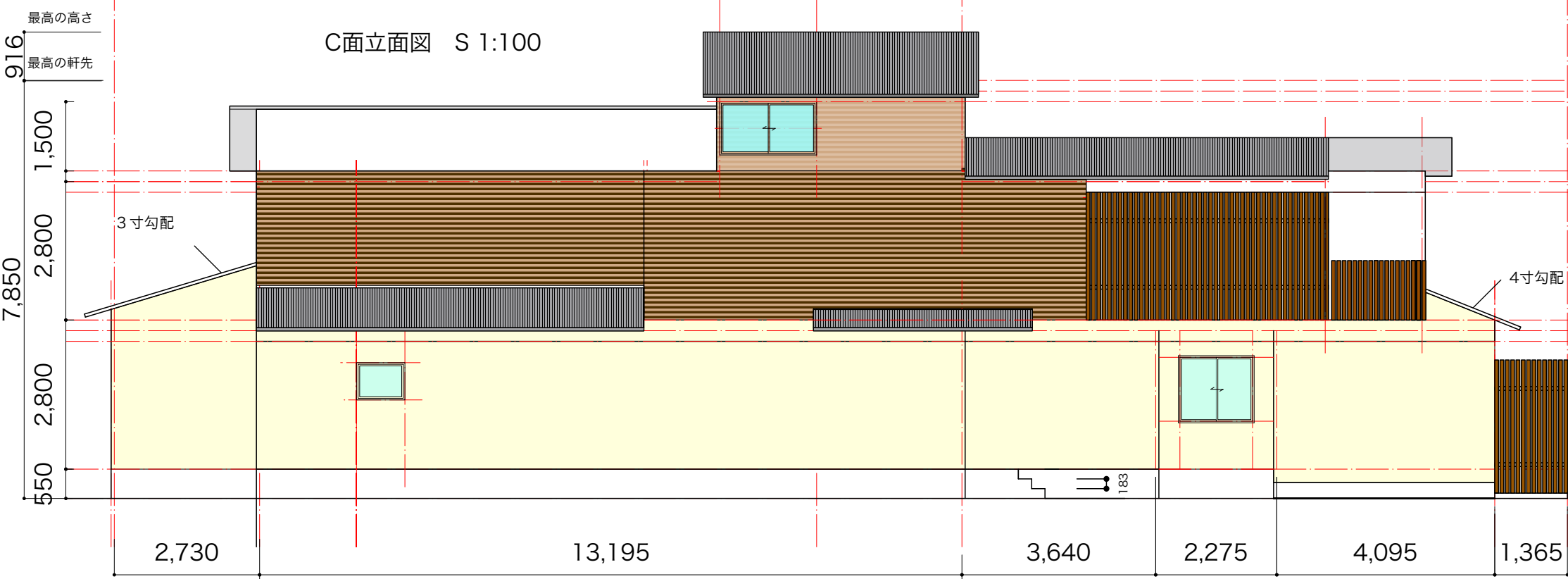
三階平面図 S 1:100



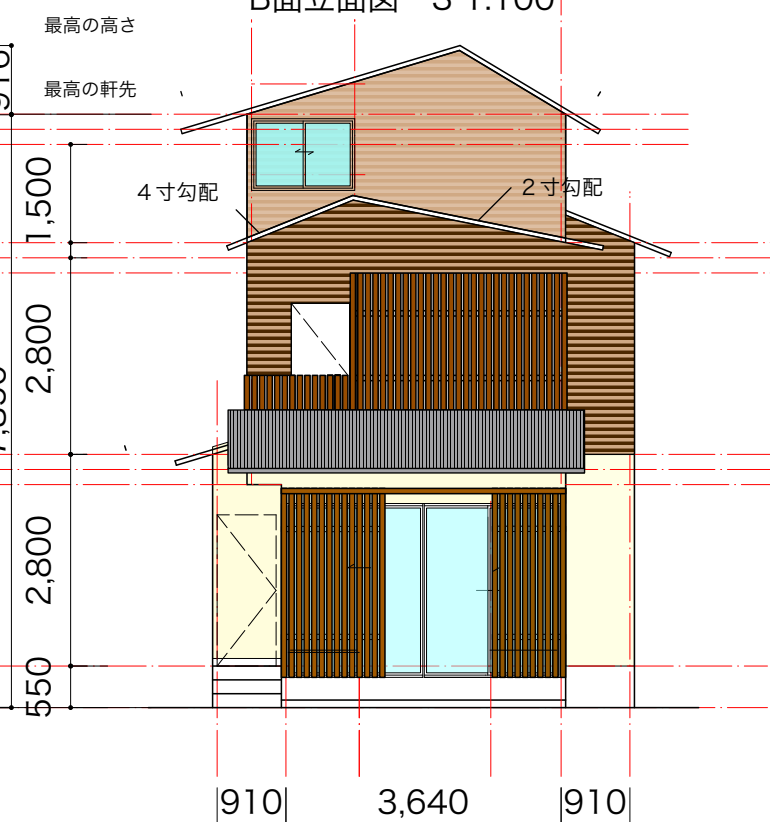
A面立面図 S 1:100



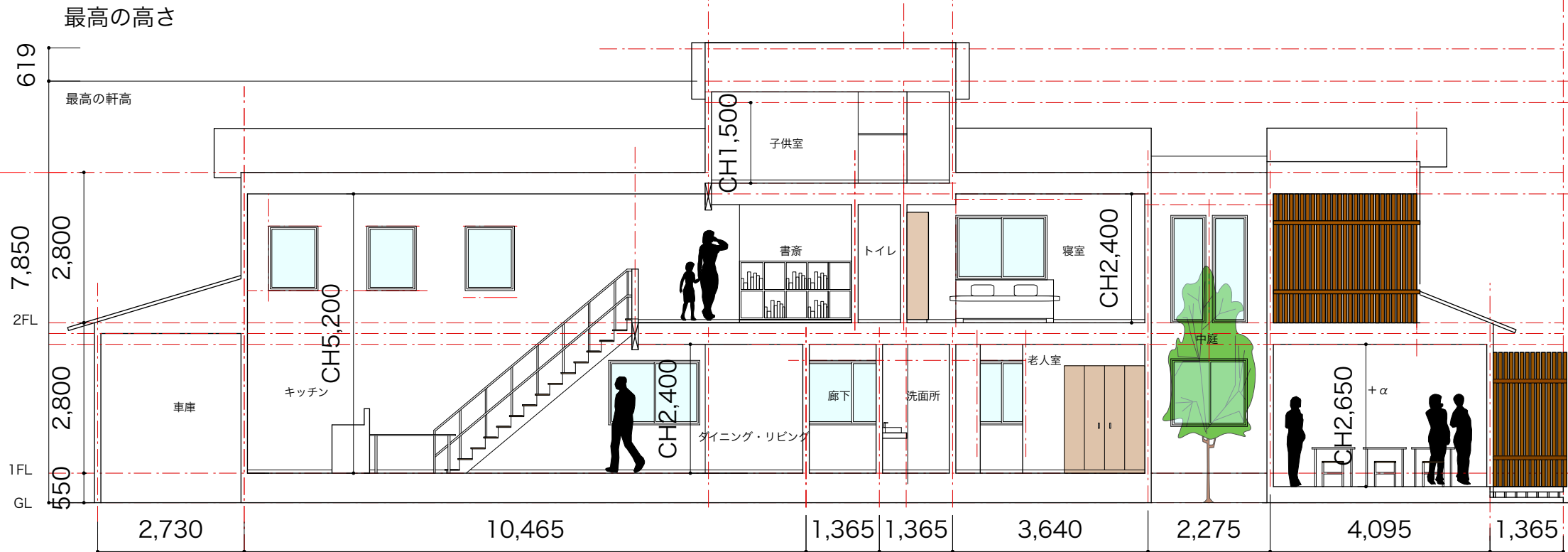
D面立面図 S 1:100



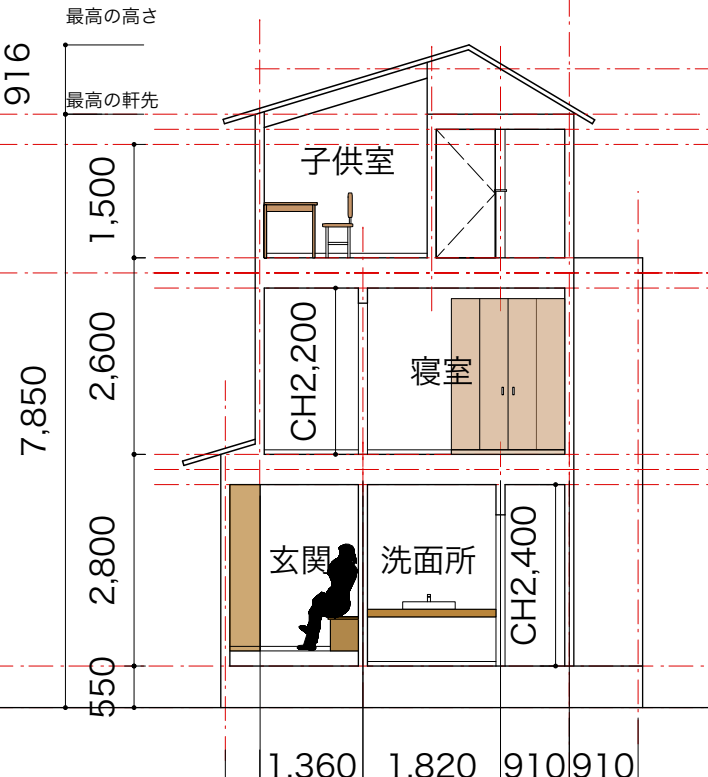
C面立面図 S 1:100



B面立面図 S 1:100



A-A' 断面図 S 1:100



B-B' 断面図 S 1:100